

チューリップ 四季だよりの



上段：大花壇に広がるチューリップ（2014年4月撮影）

中段：タワーから望む地上絵（2014年4月撮影）

下段：植込みの様子（2014年11月撮影）

※ポイントを打ち、紐で地上絵を作製。細かく品種を分けて球根を配列

2015
Vol.66

チューリップ公園大花壇にかける夢

公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団
チューリップ四季彩館企画普及係公園担当

水木 努

私がチューリップフェア会場のメインである「大花壇」を担当して4年になります。今年もようやくチューリップ球根の植込みが終わり、いよいよ本格的な冬が訪れます。

来年のチューリップフェアのテーマは「夢見る未来へ」となみの花物語。

チューリップ公園の大花壇は面積約2,600㎡、その年々のテーマに基づいた地上絵を20万本のチューリップで描きます。今回は県民50年の悲願、富山ひいては北陸の未来を切り拓く希望の星になって欲しいとの思いを込め、来る3月14日に開業が迫る「北陸新幹線」をイメージしました。



2011年大花壇



2012年大花壇

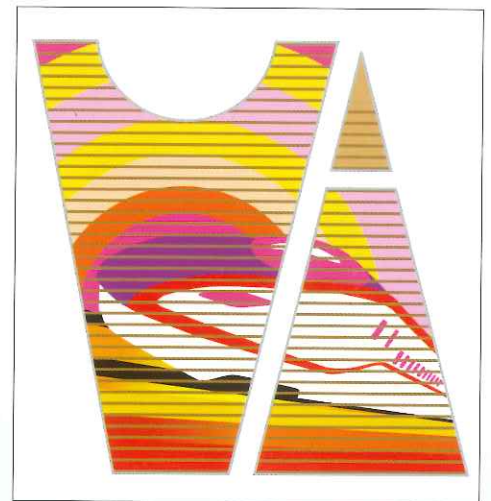


2013年大花壇

皆様に会期を通して美しいチューリップをご覧いただきたい。そのような思いから来春64回を数えるフェアの歴史の中で、創始以来培われたノウハウをもとに確立した大花壇での取組みをいくつかご紹介いたします。

まずは品種構成から。どのようにして北陸新幹線を表現するのか？

北陸新幹線をイメージする上で最も重要なのが、地元伝統工芸の銅色と空色の帯を施したアイポリーホワイトの車体です。この部分は大花壇の中でも最も面積が大きいため、少しでも長く楽しめるように白色の中生種と晩生種を混植しました。また、チューリップには青色がないため、少しでも近い色彩となるように空色



2015年大花壇デザイン図

次にご紹介するのは開花調整です。

開花調整といっても開花期は気候に左右され、残念ながら現在の技術では露地栽培のチューリップの開花を制御することは困難です。特に生育を促進することはできませんが、「遮光ネット」を被覆することで、ごく僅かではありますが生育を抑制することは可能です。

この方法は、降雪後、花壇上の融雪を防ぐようにネットを被覆し、直射日光による地温の上昇を緩和し、生育を抑制しようとするものです。効果的なネットの被覆、取り外しのタイミングが重要になり、有識者の方々からの意見を伺い検討したうえで慎重に実施しています。

ご紹介した取組みはごく一部ですが、この様々な工夫は紆余曲折を経て生み出された手法です。これらによって得られる、この僅か数日の開花期の違いが命運を分けます。

また、デザインによる品種間の配置を考慮し、会期後半に早生種の摘花をしてもその部分の緑色が活きる工夫もしているほか、より細かく、より複雑なデザインに対応するため一球一球手作業で球根を並べているのも特色の一つです。

こうした先人の英知とためまぬ努力で築き上げた日本一の球根生産地としてのプライドと技術、先人達がチューリップに懸けた情熱と「夢」、それらを守り、受け継ぎ、多くの方々に砺波のチューリップを見たいと感じていただけるよう頑張ります。

となみチューリップフェア会場づくりに市民が活躍

「2015となみチューリップフェア」

「押し花壇の構成はこれだ！」

平成26年11月15日、市民ボランティアによるチューリップ公園花壇の植込みが行われました。

秋晴れの空のもと、過去最多となる63名の市民が植え込みに参加されました。

2015となみチューリップフェアのメイン会場となるチューリップ公園。園内にはチューリップで地上絵を描く大花壇の他にも多くの花壇があります。

その中でボランティアの方々に協力していただいたのは公園の中心にある噴水を囲む花壇です。この場所は毎年一押ししの品種を植込む花壇と位置付けています。今年には富山県生まれのチューリップの代表格、県内における生産量もナンバーワン品種「黄小町」と「黄小町」の突然変異から生まれた新品种「とやまレッド」と「タヤけ小町」の3品種ミックスにワスレナグサをあわせて植込みました。チューリップらしい花の形と色。そして開花時期、草丈がぴったりの3品種で構成された花壇にご期待ください！



植込みの様子



黄小町



とやまレッド



タヤけ小町



平成26年度

花と緑のポスター原画及び花と緑の標語コンクール

砺波市内入賞者の紹介

標語コンクール

やさしさを

つたえてくれる

花のまち

砺波南部小学校2年 稲垣龍映さん

優秀賞

お花つてえ顔にかえる

まほうだね

砺波南部小学校4年 田中彩愛さん

佳作

きょうそうだぼくとひまわり

せいくらべ

砺波南部小学校1年 加藤郁也さん

佳作

おもてなし 花とみどり

むかえよう

砺波南部小学校2年 犀川晴太さん

佳作

つなげよう 次の世代へ

緑のバトン

砺波南部小学校5年 上銘佑京さん

ポスター原画コンクール



砺波東部小学校 6年 澤田莉穂さん



庄川小学校 3年 井上来瞳さん



庄川小学校 2年 丸山慈央さん



表彰式の風景

チューリップ四季彩館 みどころ紹介

常設展示



「花・万華鏡 ～新春のチューリップ～」

1月4日(日)～2月3日(火)
紅や白のハボタンとチューリップを中心とした展示をします。



「花・万華鏡 ～早春のチューリップ～」

2月6日(金)～3月24日(火)
チューリップやシンビジウムなどピンクを主とした展示をします。

チューリップスクエア 世界で唯一、年中チューリップが咲いている場所

促成栽培で咲かせた チューリップを展示

促成栽培で真冬もきれいなチューリップが咲いています。



チューリップミュージアム

チューリップ博士になろう!

歴史、品種改良、球根のしくみや栽培方法などについて紹介しています。



第29回 春を呼ぶチューリップ展

「知る・撮る・乗る 鉄道る!」

日時：3月13日(金)～3月22日(日)
9:00～18:00

会場：チューリップ四季彩館ホール

入場料：チューリップ四季彩館全館共通券
大人・高校生以上 500円 (400円)
小・中学生 250円 (200円)

*小学生未満無料。障がい者手帳提示者は無料。
*()内は20名以上の団体料金。
*この入場券で四季彩館の常設展もご覧になれます。

☆促成栽培で咲かせた1万本のチューリップと北陸新幹線を支える富山県企業の製品のコラボレーションが実現。

☆大人気の鉄道模型コーナーや人力発電で動くW7系新幹線もやってくる!!



昨年の様子

富山県花総合センター(エシガガーデン)

開園時間 午前9時～午後4時30分

展示ホール 早春を彩る花まつり2015

入園無料

～バレンタイン～

とき：2月13日(金)～15日(日)

ハートのトピアリーや花に込められている「花言葉」を紹介しながら春の訪れを早春の花で彩ります。研修室では促成栽培したスイセン約100品種を展示します。



昨年の様子

お問合せ 〒939-1383 富山県砺波市高道46-3 電話 0763-32-1187 Fax 0763-32-1219

